

## 地方独立行政法人堺市立病院機構 第2期中期目標・第2期中期計画（素案）比較

第2期中期目標（案）	第2期中期計画（案）
目次	目次
前文 第1 中期目標の期間 第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 1 市立病院として担うべき医療 2 高度専門医療の提供 3 安全・安心で信頼される患者中心の医療の提供 4 地域への貢献 第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項 1 効率的・効果的な業務運営 2 やりがいを感じ、働きやすい病院づくり 第4 財務内容の改善に関する事項 1 安定した経営基盤の早期確立 第5 その他業務運営に関する重要事項 1 環境にやさしい病院運営	前文 第1 中期計画の期間 第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 1 市立病院として担うべき医療 2 高度専門医療の提供 3 安全・安心で信頼される患者中心の医療の提供 4 地域への貢献 第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項 1 効率的・効果的な業務運営 2 やりがいを感じ、働きやすい病院づくり 第4 財務内容の改善に関する事項 1 安定した経営基盤の早期確立 第5 その他業務運営に関する重要事項 1 環境にやさしい病院運営 2 新病院の整備及び運営に関する取組 第6 予算（人件費の見積もり含む。）、収支計画及び資金計画 第7 短期借入金の限度額 第8 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 第9 余剰金の使途 第10 料金に関する事項 1 料金

第2期中期目標（案）	第2期中期計画（案）
	<p>2 減免</p> <p>第11 地方独立行政法人堺市立病院機構の業務運営等に関する事項</p>
前文	
<p>地方独立行政法人堺市立病院機構（以下「市立病院機構」という。）は、平成24年4月の法人設立以降、市立堺病院を運営し、地域の中核病院として診療機能の充実を図り市民の健康増進に寄与するとともに、救急医療やがん診療などの高度専門医療の提供を行っている。</p> <p>第1期中期目標期間においては、理事長及び院長のリーダーシップのもと職員が一丸となり、安全・安心で質の高い医療サービスの提供に努めるとともに、地方独立行政法人制度の特長を活かし、柔軟かつ迅速な意思決定により、効率的・効果的な病院運営が行われている。また、救命救急センターを含む新病院の整備については、平成27年7月の開院に向けて取り組みが進められている。</p> <p>国においては医療と介護の連携や社会保障・税の一体改革による、病床の機能分化の再編を推進しており、医療を取り巻く環境は大きく変革しようとしている。</p> <p>このような中、第2期中期目標の策定にあたっては、(仮称)堺市立総合医療センターを開設し、堺市医療圏で唯一の救命救急センターの運用開始となることから、三次救急を含めた救急医療の推進及び急性期医療を担う病院として医療水準のさらなる向上と、多職種が連携するチーム医療の実施など質が高く安全・安心で信頼される医療を提供するとともに、引き続き、職員の人材育成ややりがいを持ち働きやすい職場環境の整備を期待する。</p>	<p>地方独立行政法人堺市立病院機構（以下「市立病院機構」という。）は、「すべての患者さんの権利と人格を尊重し、安心・安全で心の通う医療を提供します。」との基本理念のもと、市立堺病院を運営してきた。</p> <p>第1期中期計画では、市立病院としての役割を果たすため、地域医療機関との連携及び役割分担のもと、救急医療やがん診療をはじめとした高度専門医療など、真に地域に必要な医療を安定的かつ継続的に提供するとともに、良質な療養環境の整備など患者サービスの向上に積極的に取り組んできた。</p> <p>経営面においても、地方独立行政法人制度のメリットを十分に活かした体制整備と効率的かつ効果的な病院運営を市立病院機構職員が一丸となって、取り組んだ結果、初年度より経常収支が目標を上回るなど、3か年連続の大幅な経常黒字を達成する見込みである。</p> <p>第2期中期計画では、計画初年度に救命救急センターを含む(仮称)堺市立総合医療センターの開院が予定されており、更なる診療機能の充実と医療環境の変化に的確に対応した医療の提供に努めるとともに、これらを担う人材の確保や育成及び環境整備を戦略的に進めていく。また、経営面においても、引き続き効率的な病院運営を行い、安定した経営基盤の確立に努める。</p> <p>また、超高齢化の進展に伴う、医療と介護の連携などの医療施策の動向や医療需要の変化に対しても柔軟かつ的確に対応するほか、更なる医療水準の向上、患者・市民へのサービスの向上に取り組むことにより市民の健康の維持と健康寿命の延伸に寄与することをめざし、</p>

第2期中期目標（案）	第2期中期計画（案）		
<p>市立病院機構にあっては、引き続き、市立堺病院のこれまでの理念を継承し、地域の医療機関との連携及び役割分担のもと市民の健康の維持や健康寿命の延伸などに寄与するとともに、市民及び患者へのサービスの向上と効率的な病院運営を行い安定した経営基盤の確立を求め、ここに市立病院機構に示す基本的な方針である第2期中期目標を定める。</p>	<p>ここに第2期中期計画を定める。</p>		
<p><b>第1 中期目標の期間</b></p>	<p><b>第1 中期計画の期間</b></p>		
<p>中期目標の期間は、平成27年4月1日から平成32年3月31日までの5年間とする。</p>	<p>中期計画の期間は、平成27年4月1日から平成32年3月31日までの5年間とする。</p>		
<p><b>第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</b></p>	<p><b>第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</b></p>		
<p><b>1 市立病院として担うべき医療</b></p>	<p><b>1 市立病院として担うべき医療</b></p>		
<p><b>(1) 救命救急センターを含む救急医療</b></p>	<p><b>(1) 救命救急センターを含む救急医療</b></p>		
<p>ア 市内、唯一の救命救急センターの円滑な運営に努め、二次救急で対応が困難な重篤な患者に対して、24時間365日、三次救急医療を提供すること。</p> <p>イ 市内の救急告示病院との適切な役割分担のもと、24時間365日、二次救急医療体制の維持に取り組むとともに、二次・三次の一体的運用による救急医療のさらなる充実を行うこと。</p> <p>ウ 堺市消防局の救急ワークステーションとの連携によりメディカルコントロール体制において中心的な役割を果たすこと。</p>	<p>ア 地域完結型医療を推進し、救急医療の最後の砦をめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次・三次救急医療体制が一体となった、精神疾病を伴う総合的な救急医療を24時間365日提供し、市民の生命と健康を守る。</li> <li>・救命救急センターとして、厚生労働省の示す評価項目の強化を図り、質の高い三次救急医療を提供する。</li> </ul> <p>イ 地域全体として円滑な救急応需体制を構築するため、地域の医療機関と緊急度や病態に応じた役割分担を明確にし連携を図る。</p> <p>ウ メディカルコントロール体制において指導的役割を担うとともに、救急ワークステーションと一体となって効果的な病院前医療体制の充実を図る。</p>		
	<p>目標指標</p>	<p>25年度実績</p>	<p>31年度目標</p>
	<p>救急搬送受入件数</p>	<p>6,834件</p>	

第2期中期目標（案）	第2期中期計画（案）												
	<table border="1" data-bbox="1458 301 2141 501"> <thead> <tr> <th>連指標</th> <th>25年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重度外傷応需率</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>重度疾病応需率</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ウォークイン件数</td> <td>8,982件</td> </tr> </tbody> </table>	連指標	25年度実績	重度外傷応需率	—	重度疾病応需率	—	ウォークイン件数	8,982件				
連指標	25年度実績												
重度外傷応需率	—												
重度疾病応需率	—												
ウォークイン件数	8,982件												
<p><b>（2）小児医療・周産期医療</b></p>	<p><b>（2）小児医療・周産期医療</b></p>												
<p>ア 地域医療機関との連携と役割分担に基づき小児医療及び周産期医療を提供するとともに、充実を図ること。</p> <p>イ 小児救急医療については、初期救急医療を担う（仮称）堺市こども急病診療センターや他の病院群輪番病院との連携と役割分担のもと、24時間365日、二次救急医療体制を確保すること。</p>	<p>ア 地域医療機関との連携及び役割分担を図り、市内における小児・周産期医療を安定的に提供する。また、安心して子どもを産み育てられるように質の高い医療を提供する。</p> <p>イ 小児救急医療については、（仮称）堺市こども急病診療センターや他の小児二次救急医療機関等とさらなる連携強化、機能分化を図り、24時間365日、持続可能な小児救急医療体制を整備し、小児二次救急医療を安定的に提供する。</p> <table border="1" data-bbox="1263 892 2141 1091"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>25年度実績</th> <th>31年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児救急搬送受入件数</td> <td>1,452件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小児ウォークイン紹介件数</td> <td>325件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>分娩件数</td> <td>482件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	25年度実績	31年度目標	小児救急搬送受入件数	1,452件		小児ウォークイン紹介件数	325件		分娩件数	482件	
目標指標	25年度実績	31年度目標											
小児救急搬送受入件数	1,452件												
小児ウォークイン紹介件数	325件												
分娩件数	482件												
<p><b>（3）感染症医療</b></p>	<p><b>（3）感染症医療</b></p>												
<p>第一種及び第二種感染症指定医療機関として、感染症患者の受入体制の維持、感染症に関する関係法令や市の計画などに基づく適切な対応など、地域の感染症医療における中核的な役割を果たすこと。</p>	<p>・新興感染症等発生時には、第一種及び第二種感染症指定医療機関として、行政や地域医療機関との連携を図りながら速やかな患者の受入れ体制の整備を図る。また、非常時にも継続して医療を提供できるように平時から全職員に対し、学習会を開催する等、危機対応能力を高め、パンデミックに備えた万全な体制を維持する。</p>												

第2期中期目標（案）	第2期中期計画（案）															
<p><b>（４）災害その他緊急時の医療</b></p> <p>災害その他緊急時には、災害拠点病院として、堺市地域防災計画等に基づく対応を的確に行うことはもとより、自らの判断で医療救護活動を実施すること。また、大規模な災害や事故の発生に備えた訓練の実施と物資の備蓄等を行うこと。</p>	<p><b>（４）災害その他緊急時の医療</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南海トラフ巨大地震等大規模災害時には災害拠点病院として、堺市地域防災計画に基づき関係機関と連携、協力を図りながら患者の受入れや医療スタッフの派遣等、迅速かつ的確な対応を行う。</li> <li>・非常時にも継続して医療を提供できるよう、平時から、各種訓練を実施するなど、職員の危機対応、管理能力の向上を図る。また、災害対策マニュアルの点検や必要物品等の備蓄確認を徹底し、災害に備えた万全な体制を維持する。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1480 592 2141 740"> <thead> <tr> <th>関連指標</th> <th>25年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害訓練回数</td> <td>11回</td> </tr> <tr> <td>うち院外訓練</td> <td>7回</td> </tr> </tbody> </table>	関連指標	25年度実績	災害訓練回数	11回	うち院外訓練	7回									
関連指標	25年度実績															
災害訓練回数	11回															
うち院外訓練	7回															
<p><b>2 高度専門医療の提供</b></p>	<p><b>2 高度専門医療の提供</b></p>															
<p><b>（１）がんへの対応</b></p> <p>がんは、市民の疾病による死亡の最大の原因であり、その対策が市民の生命及び健康にとって重大な問題となっていることから、科学的な知見に基づく適切で良質な医療提供を行うこと。また、地域がん診療連携拠点病院としてがん診療の質的向上に努めるとともに、地域の医療機関と連携し、がん相談や情報提供を行うこと。さらに、市が実施するがん対策等に関する施策に協力し、がん予防に寄与すること。</p>	<p><b>（１）がんへの対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域がん診療連携拠点病院として、科学的な知見に基づき、手術・放射線療法・化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の強化、がんリハビリテーションの充実、セカンドオピニオンの推進、がん患者に対する相談支援及び情報提供を積極的に行い、がん医療の質的向上を図る。また、がん検診等の予防対策にも積極的に取り組む。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1256 1177 2152 1420"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>25年度実績</th> <th>31年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化学療法調製件数</td> <td>6,672件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射線治療延件数</td> <td>5,953件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>悪性腫瘍手術件数</td> <td>827件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>がん登録件数（※）</td> <td>1,353件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	25年度実績	31年度目標	化学療法調製件数	6,672件		放射線治療延件数	5,953件		悪性腫瘍手術件数	827件		がん登録件数（※）	1,353件	
目標指標	25年度実績	31年度目標														
化学療法調製件数	6,672件															
放射線治療延件数	5,953件															
悪性腫瘍手術件数	827件															
がん登録件数（※）	1,353件															

第2期中期目標（案）	第2期中期計画（案）										
	<p style="text-align: center;">※) 1月～12月実績</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>関連指標</th> <th>25年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がんリハビリ実施件数</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>がん相談件数</td> <td style="text-align: center;">2,277件</td> </tr> <tr> <td>緩和ケアチーム新規介入件数</td> <td style="text-align: center;">350件</td> </tr> <tr> <td>セカンドオピニオン対応件数</td> <td>当院から他院 51件 他院から当院 19件</td> </tr> </tbody> </table>	関連指標	25年度実績	がんリハビリ実施件数	—	がん相談件数	2,277件	緩和ケアチーム新規介入件数	350件	セカンドオピニオン対応件数	当院から他院 51件 他院から当院 19件
関連指標	25年度実績										
がんリハビリ実施件数	—										
がん相談件数	2,277件										
緩和ケアチーム新規介入件数	350件										
セカンドオピニオン対応件数	当院から他院 51件 他院から当院 19件										
<b>(2) 脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病への対応</b>	<b>(2) 脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病への対応</b>										
<p>脳卒中、急性心筋梗塞及び糖尿病への取り組みは、地域の医療機関との連携、役割分担のもと、高度専門医療を提供すること。</p>	<p>・脳卒中をはじめとした脳血管障害については、脳血管内治療を強化し、急性心筋梗塞については、集中治療室の機能を充実するとともに、引き続き、ハートコール等による24時間体制の受入れを行う。また、糖尿病に関しては、地域連携パスの利用を促進する等、生活習慣病対策を強化するほか、糖尿病合併症についても、関係診療科との連携を図りながら取り組む。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>関連指標</th> <th>25年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳卒中クリニカルパス実施件数</td> <td style="text-align: center;">20件</td> </tr> <tr> <td>t-P A治療実施件数</td> <td style="text-align: center;">1件</td> </tr> </tbody> </table>	関連指標	25年度実績	脳卒中クリニカルパス実施件数	20件	t-P A治療実施件数	1件				
関連指標	25年度実績										
脳卒中クリニカルパス実施件数	20件										
t-P A治療実施件数	1件										
<b>(3) 高度専門医療の推進</b>	<b>(3) 高度専門医療の推進</b>										
<p>ア 地域の中核病院として医療の更なる高度専門化に対応した医療を提供すること。</p> <p>イ 新しい治療法を開発するための臨床研究及び新薬の治験の推進に取り組むこと。</p>	<p>ア 地域における中核病院として、専門外来、各診療センターの機能強化、低侵襲手術への積極的な取り組み等を行う。また、最先端機器や高度設備の充実を図る。</p> <p>イ 基礎研究の成果を臨床の実用化につなげ、医薬品や医療機器の創出をめざし、臨床研究及び治験の推進環境（体制）に更なる充実を図る。また、医療需要の変化に応じて、他の</p>										

第2期中期目標（案）	第2期中期計画（案）								
	<p>医療機関では提供できない医療に適切に対応するほか、先進医療等にも積極的に取り組む。</p> <table border="1" data-bbox="1458 312 2141 512"> <thead> <tr> <th>関連指標</th> <th>25年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>腹腔鏡（胸腔鏡）下手術件数</td> <td>562件</td> </tr> <tr> <td>治験実施件数</td> <td>19件</td> </tr> <tr> <td>先進医療届け出件数</td> <td>3件</td> </tr> </tbody> </table>	関連指標	25年度実績	腹腔鏡（胸腔鏡）下手術件数	562件	治験実施件数	19件	先進医療届け出件数	3件
関連指標	25年度実績								
腹腔鏡（胸腔鏡）下手術件数	562件								
治験実施件数	19件								
先進医療届け出件数	3件								
<p><b>3 安全・安心で信頼される患者中心の医療の提供</b></p>	<p><b>3 安全・安心で信頼される患者中心の医療の提供</b></p>								
<p><b>（1）医療安全対策の徹底</b></p>	<p><b>（1）医療安全対策の徹底</b></p>								
<p>医療事故に関する情報の収集と分析を行い、医療事故の予防及び再発防止に取り組むこと。また、院内感染防止対策の確実な実施などにより医療安全対策を徹底すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が患者の安全を最優先に、万全な対応を行うことができるよう、医師・看護師及び薬剤師等を中心に、医療安全に関する情報の収集や分析を行うほか、医療事故を未然に防ぐ活動にも積極的に取り組み、医療安全対策の徹底及び安全文化を醸成する。</li> <li>・院内で発生したインシデント・アクシデントについての報告を強化するとともに、その内容を分析し、全職員に周知することにより、再発防止に取り組む。</li> <li>・感染管理医師、感染管理看護師を中心に、感染に関する情報発信を積極的に行う。また、複数の医療従事者から構成するチーム（ICT）による院内ラウンドを実施し、院内での感染状況の評価や感染対策を的確に行う。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1458 1078 2141 1230"> <thead> <tr> <th>関連指標</th> <th>25年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全研修実施件数</td> <td>7回</td> </tr> <tr> <td>医療安全研修参加延人数</td> <td>880人</td> </tr> </tbody> </table>	関連指標	25年度実績	医療安全研修実施件数	7回	医療安全研修参加延人数	880人		
関連指標	25年度実績								
医療安全研修実施件数	7回								
医療安全研修参加延人数	880人								
<p><b>（2）医療の質の向上</b></p>	<p><b>（2）医療の質の向上</b></p>								
<p>診療科の枠を越えた多職種が連携するチーム医療や医療センターの機能の充実、強化を行うこと。また、クリニカルパスの充実による医</p>	<p>・医師・看護師及びメディカルスタッフ等がチームを編成し、最適な医療を提供する体制を一層強化する。</p>								

第2期中期目標（案）	第2期中期計画（案）								
療の質の標準化及びクリニカルインディケータの活用により客観的評価を行い、医療の見える化に取り組むこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質の高い医療を提供するため、DPC データを用いたクリニカルパスの作成や、クリニカルインディケータ（臨床評価指標）の分析評価を行い、医療の質を継続的に管理できる体制を確立するため IT 化を推進する。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1473 395 2159 544"> <thead> <tr> <th>関連指標</th> <th>25 年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリニカルパス適用率</td> <td>46.8%</td> </tr> <tr> <td>クリニカルパス数</td> <td>174 件</td> </tr> </tbody> </table>			関連指標	25 年度実績	クリニカルパス適用率	46.8%	クリニカルパス数	174 件
関連指標	25 年度実績								
クリニカルパス適用率	46.8%								
クリニカルパス数	174 件								
<b>（3）法令・行動規範の遵守（コンプライアンス）</b>	<b>（3）法令・行動規範の遵守（コンプライアンス）</b>								
医療法をはじめとする関係法令の遵守はもとより、行動規範と倫理に基づく適正な病院運営、個人情報保護と管理の徹底を行うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者及び市民からの信頼を確保するため、職員一人ひとりが医療提供者であるという意識を持ち、医療法をはじめ、関係法令の遵守を徹底する。</li> <li>・法令及び行動規範の遵守を全職員が認識及び実践するため、周知徹底を図る。</li> </ul>								
<b>（4）患者の視点に立った医療の実践</b>	<b>（4）患者の視点に立った医療の実践</b>								
医療の中心は患者であることを常に認識し全ての患者の権利と人格を尊重するとともに、インフォームド・コンセントの徹底や患者の視点に立った環境整備に努め、心の通う医療を提供すること。また、地域で果たす役割や医療機能などについて、患者ニーズに合った情報発信を積極的に行うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立病院機構の理念に基づき、安心・安全で心の通う医療を提供する。</li> <li>・患者中心の医療を常に実践し、インフォームド・コンセントを徹底するとともに、引き続きセカンドオピニオンについても対応する。</li> <li>・患者満足度調査や投書箱に寄せられた意見等により患者ニーズを把握し、必要な改善を行う。また、ボランティアと協働し、患者の視点に沿った病院づくりを進める。</li> <li>・当院の特色や疾患の治療方針、地域医療機関との連携状況、さらには高度急性期病院としての機能や役割について患者及び市民に対し、情報を積極的に発信する。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1240 1254 2159 1402"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>25 年度実績</th> <th>31 年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者満足度調査結果 (100 点満点)</td> <td>入院 82.1 点 外来 73.6 点</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			目標指標	25 年度実績	31 年度目標	患者満足度調査結果 (100 点満点)	入院 82.1 点 外来 73.6 点	
目標指標	25 年度実績	31 年度目標							
患者満足度調査結果 (100 点満点)	入院 82.1 点 外来 73.6 点								



第2期中期目標（案）	第2期中期計画（案）						
	<table border="1" data-bbox="1442 237 2141 387"> <thead> <tr> <th>関連指標</th> <th>25年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談窓口に寄せられた相談件数</td> <td>16,287件</td> </tr> <tr> <td>投書箱に寄せられた件数</td> <td>155件</td> </tr> </tbody> </table>	関連指標	25年度実績	相談窓口に寄せられた相談件数	16,287件	投書箱に寄せられた件数	155件
関連指標	25年度実績						
相談窓口に寄せられた相談件数	16,287件						
投書箱に寄せられた件数	155件						
<p><b>（5）患者サービスの向上</b></p> <p>患者が満足し、患者に選ばれる病院づくりをめざし、患者の視点に立ったサービス向上に取り組むこと。</p>	<p><b>（5）患者サービスの向上</b></p> <p>・患者やその家族が院内で快適に過ごせるよう、総合的な待ち時間対策や療養環境の整備、安全かつ良質な入院食の提供等、安らぎと楽しみを与えられる取り組みを実施し、患者サービスの向上を図る。</p> <table border="1" data-bbox="1476 687 2141 786"> <thead> <tr> <th>関連指標</th> <th>25年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>接遇研修回数</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table>	関連指標	25年度実績	接遇研修回数	2回		
関連指標	25年度実績						
接遇研修回数	2回						
<p><b>4 地域への貢献</b></p>	<p><b>4 地域への貢献</b></p>						
<p><b>（1）地域の医療機関との連携推進</b></p> <p>ア 市立病院として担うべき医療機能を発揮し地域での役割を果たすため、紹介された患者の受入と患者に適した医療機関への積極的な紹介や開放病床の利用促進を行い、地域の医療機関との連携や協力を推進すること。</p> <p>イ 在宅医療については、関連機関との連携強化を推進し、病院の機能に応じたネットワークの構築に努めること。</p>	<p><b>（1）地域の医療機関との連携推進</b></p> <p>ア 地域医療機関のニーズを把握し、地域医療支援病院としての役割に応じた患者の紹介・逆紹介を行うとともに、地域連携パスの活用、持参薬情報の共有、高度医療機器の共同利用促進等、病病・病診連携をより一層推進するとともに、後方支援病院の確保に努める。また、オープンカンファレンスや研修会を開催し、顔の見える地域連携を実現する。</p> <p>イ 疾病を抱えていても在宅で生活を送れるよう、地域の関係機関との連携体制を構築し、切れ目のない医療を提供するとともに、在宅患者の急変時には、診療の支援が行える体制を整備する。</p>						

第2期中期目標（案）	第2期中期計画（案）																				
	<table border="1" data-bbox="1245 236 2141 483"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>25年度実績</th> <th>31年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>64.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>56.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域の医療従事者への研修会実施回数</td> <td>23回</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1460 515 2141 715"> <thead> <tr> <th>関連指標</th> <th>25年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域連携クリニカルパス数</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>地域連携パス適用患者数</td> <td>217件</td> </tr> <tr> <td>開放型病床利用率</td> <td>74.7%</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	25年度実績	31年度目標	紹介率	64.4%		逆紹介率	56.5%		地域の医療従事者への研修会実施回数	23回		関連指標	25年度実績	地域連携クリニカルパス数	12件	地域連携パス適用患者数	217件	開放型病床利用率	74.7%
目標指標	25年度実績	31年度目標																			
紹介率	64.4%																				
逆紹介率	56.5%																				
地域の医療従事者への研修会実施回数	23回																				
関連指標	25年度実績																				
地域連携クリニカルパス数	12件																				
地域連携パス適用患者数	217件																				
開放型病床利用率	74.7%																				
<p align="center"><b>（2）地域での医療従事者の育成</b></p>	<p align="center"><b>（2）地域での医療従事者の育成</b></p>																				
<p>医療専門職の養成や医療従事者の育成に貢献すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急医療及び急性期医療に加え、地域医療等を学ぶ場として、医学生、看護学生、薬学部学生をはじめとした、医療系学生の実習等を積極的に受け入れる体制を充実し、地域における優秀な人材の育成と医療の質向上に貢献する。</li> <li>臨床教育支援センターの機能を強化し、初期研修及び後期研修を連動させたシームレスな医療人育成システムの充実を図る。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1442 1062 2141 1358"> <thead> <tr> <th>関連指標</th> <th>25年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生実習受入人数</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>看護学生実習受入人数</td> <td>329人</td> </tr> <tr> <td>薬学部生実習受入人数</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>研修医による学会発表件数</td> <td>0.63件/人</td> </tr> <tr> <td>指導医講習会受講済者数</td> <td>31人</td> </tr> </tbody> </table>	関連指標	25年度実績	医学生実習受入人数	30人	看護学生実習受入人数	329人	薬学部生実習受入人数	20人	研修医による学会発表件数	0.63件/人	指導医講習会受講済者数	31人								
関連指標	25年度実績																				
医学生実習受入人数	30人																				
看護学生実習受入人数	329人																				
薬学部生実習受入人数	20人																				
研修医による学会発表件数	0.63件/人																				
指導医講習会受講済者数	31人																				

第2期中期目標（案）	第2期中期計画（案）						
<p align="center"><b>（3）医療、保健、福祉、教育などの行政全般等との連携と協力</b></p> <p>ア 市民の健康維持や健康寿命の延伸に寄与するため、市と連携や協力し、予防医療の推進に努めること。また、健康に関する保健医療情報の発信及び啓発に取り組むこと。</p> <p>イ 市立病院として、医療、保健、福祉、教育などの行政全般等との連携に努めること。</p>	<p align="center"><b>（3）医療、保健、福祉、教育などの行政全般等との連携と協力</b></p> <p>ア 市民の健康維持や健康寿命の延伸に寄与するため、市民公開講座の開催、ホームページの活用、広報誌等を通じて情報を発信し、健康診断、予防接種など予防医療の推進に努める。</p> <p>イ 市立病院として、医療、保健、福祉、教育など行政機関との連携及び、施策の推進に努める。</p> <table border="1" data-bbox="1442 529 2141 679" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>関連指標</th> <th>25年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民公開講座の開催回数</td> <td align="center">16回</td> </tr> <tr> <td>市民公開講座の参加延人数</td> <td align="center">738人</td> </tr> </tbody> </table>	関連指標	25年度実績	市民公開講座の開催回数	16回	市民公開講座の参加延人数	738人
関連指標	25年度実績						
市民公開講座の開催回数	16回						
市民公開講座の参加延人数	738人						
<p><b>第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項</b></p>	<p><b>第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項</b></p>						
<p><b>1 効率的・効果的な業務運営</b></p>	<p><b>1 効率的・効果的な業務運営</b></p>						
<p><b>（1）自律性・機動性の高い組織づくり</b></p>	<p><b>（1）自律性・機動性の高い組織づくり</b></p>						
<p>適切な権限配分と効率的な業務運営を図ること。また、患者動向や医療需要等の変化に即した効果的な医療提供体制の整備に努めること。</p>	<p>・戦略的な経営を行うため、理事会や経営幹部会を継続的に開催するとともに、理事長をはじめ院長や各部門長の権限の明確化や経営企画機能の強化を図り、安定した経営に寄与する。また、医療を取り巻く環境の変化に迅速に対応し、より質の高い病院運営ができる体制を確立し維持する。</p>						
<p><b>（2）質の高い経営</b></p>	<p><b>（2）質の高い経営</b></p>						
<p>各部門の業務分析や損益分析等により現状把握を行い、PDCAサイクルによる目標管理の徹底を行うこと。また、戦略的な病院経営をめざし、経営に関する企画立案機能の強化を図ること。</p>	<p>・全職員、特に、診療科部長や部門長が目標及び課題を共有し、PDCAサイクルを確実に行うことやリスクマネジメント体制を構築することにより、経営改善に取り組み、長期的視点に立った質の高い経営を進める。</p> <p>・さらなる高齢化の進展、診療報酬の改定等、病院運営を取り巻く外部環境に迅速かつ、的確に対応するため、戦略的な経営を行う。</p>						

第2期中期目標（案）	第2期中期計画（案）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院経営に関する知識・経験を有する人材を計画的に採用するほか、優れた人材を育てる。</li> </ul>
<p><b>（3）外部評価等の活用</b></p>	<p><b>（3）外部評価等の活用</b></p>
<p>監事や会計監査人による監査結果などを活用し、効率的かつ効果的であり、また市民目線を活かした業務改善を図ること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監事や会計監査人による監査結果等を活用し、より戦略的な業務改善及び効率化を図る。</li> <li>・市民の目線に立って業務を点検し、業務改善を行う。</li> </ul>
<p><b>2 やりがいを感じ、働きやすい病院づくり</b></p>	<p><b>2 やりがいを感じ、働きやすい病院づくり</b></p>
<p><b>（1）職員のキャリアアップにつながる人事・給与制度の整備</b></p>	<p><b>（1）職員のキャリアアップにつながる人事・給与制度の整備</b></p>
<p>職員の業績や能力を的確に反映し、職員のモチベーションの向上や人材育成につながる客観的な評価制度の整備、運用を行うこと。また、職員のキャリアアップを支援し、職員一人ひとりが「やる気と誇り」を持って働くことができる環境整備を行うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員のモチベーション向上と組織の活性化を図るため、職員及び組織の業績や貢献度等を総合的に評価し、病院経営実績も加味しつつ、職員の努力が反映できる人事給与制度を構築する。</li> <li>・人材育成方針のもと、職員のキャリアアップの支援など、働きがいのある職場環境づくりを進める。</li> </ul>
<p><b>（2）働きやすい職場環境の整備</b></p>	<p><b>（2）働きやすい職場環境の整備</b></p>
<p>職場環境の改善やワーク・ライフ・バランスの推進に取り組むこと。家庭と仕事を両立し、子育てをしながら安心して働くための支援の充実に努めること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短時間労働時間制や院内保育の拡充など、子育て支援等の充実により、育児等を行う職員が安心して働けるよう支援する。また、復職時の支援体制を整備し、仕事と生活の調和のとれた柔軟で働きやすい職場環境づくりを進める。</li> <li>・職場におけるメンタルヘルス・ハラスメントに関する相談窓口を充実し、利用を促進することで、職員の心の健康のための取り組みを進める。</li> </ul>

第2期中期目標（案）	第2期中期計画（案）																																	
第4 財務内容の改善に関する事項	第4 財務内容の改善に関する事項																																	
1 安定した経営基盤の早期確立	1 安定した経営基盤の早期確立																																	
<p>安定した経営基盤を確立するため、収入の確保と費用対効果に基づく効果的な費用節減に取り組み、早期に経常収支を黒字にすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市立病院としての役割を果たすとともに、増収対策及び費用の合理化により、安定した経営基盤を維持し、より自立した経営を行う。</li> <li>医療を取り巻く環境の変化に迅速に対応できるよう、的確な経営分析を進めるとともに、地方独立行政法人のメリットを生かした、機動的かつ柔軟な病院経営を行うことにより、安定的な経常収支及び資金収支の維持を図る。また、診療材料及び医薬品は、市場調査に基づく価格交渉の継続実施や在庫管理の徹底、多様な契約手法の活用等により、一層の費用の削減を進める。</li> <li>未収金については未然の発生を防止するとともに、発生した未収金については、定期的な督促や債権回収委託の活用等、早期回収に努める。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1245 762 2141 1353"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>25年度実績</th> <th>31年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>102.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般病床利用率</td> <td>89.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>12.2日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新入院患者数</td> <td>11,911人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>4,035件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>全身麻酔件数</td> <td>1,944件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>後発医薬品採用率（数量ベース）（※）</td> <td>34.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入院延患者数</td> <td>157,132人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外来延患者数</td> <td>188,426人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>窓口負担金の収納率</td> <td>99.3%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※25年度実績は新計算方式での算出が困難なため、旧計算方式で記載</p>	目標指標	25年度実績	31年度目標	経常収支比率	102.9%		一般病床利用率	89.7%		平均在院日数	12.2日		新入院患者数	11,911人		手術件数	4,035件		全身麻酔件数	1,944件		後発医薬品採用率（数量ベース）（※）	34.4%		入院延患者数	157,132人		外来延患者数	188,426人		窓口負担金の収納率	99.3%	
目標指標	25年度実績	31年度目標																																
経常収支比率	102.9%																																	
一般病床利用率	89.7%																																	
平均在院日数	12.2日																																	
新入院患者数	11,911人																																	
手術件数	4,035件																																	
全身麻酔件数	1,944件																																	
後発医薬品採用率（数量ベース）（※）	34.4%																																	
入院延患者数	157,132人																																	
外来延患者数	188,426人																																	
窓口負担金の収納率	99.3%																																	

第2期中期目標（案）	第2期中期計画（案）														
	<table border="1" data-bbox="1458 220 2141 568"> <thead> <tr> <th>関連指標</th> <th>25年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運営費負担金比率</td> <td>11.5%</td> </tr> <tr> <td>患者1人1日当たり入院単価</td> <td>57,484円</td> </tr> <tr> <td>患者1人1日当たり外来単価</td> <td>17,631円</td> </tr> <tr> <td>給与費対診療収入比率</td> <td>56.1%</td> </tr> <tr> <td>材料費対診療収入比率</td> <td>25.8%</td> </tr> <tr> <td>経費対診療収入比率</td> <td>19.4%</td> </tr> </tbody> </table>	関連指標	25年度実績	運営費負担金比率	11.5%	患者1人1日当たり入院単価	57,484円	患者1人1日当たり外来単価	17,631円	給与費対診療収入比率	56.1%	材料費対診療収入比率	25.8%	経費対診療収入比率	19.4%
関連指標	25年度実績														
運営費負担金比率	11.5%														
患者1人1日当たり入院単価	57,484円														
患者1人1日当たり外来単価	17,631円														
給与費対診療収入比率	56.1%														
材料費対診療収入比率	25.8%														
経費対診療収入比率	19.4%														
<b>第5 その他業務運営に関する重要事項</b>	<b>第5 その他業務運営に関する重要事項</b>														
<b>1 環境にやさしい病院運営</b>	<b>1 環境にやさしい病院運営</b>														
<p>省資源及び省エネルギーに取り組み、低炭素社会の形成に寄与する環境にやさしい病院運営に努めること。</p>	<p>・省エネルギー化やゴミ分別の徹底及びリサイクルの推進による廃棄物の減量等により、温室効果ガスの削減に取り組む等、環境負荷軽減を図り、環境にやさしい病院づくりを行う。</p> <table border="1" data-bbox="1458 847 2141 1046"> <thead> <tr> <th>関連指標</th> <th>25年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気使用量</td> <td>8,338,810 kWh</td> </tr> <tr> <td>ガス使用量</td> <td>1,687,544 m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>水道使用量</td> <td>99,424 m<sup>3</sup></td> </tr> </tbody> </table>	関連指標	25年度実績	電気使用量	8,338,810 kWh	ガス使用量	1,687,544 m <sup>3</sup>	水道使用量	99,424 m <sup>3</sup>						
関連指標	25年度実績														
電気使用量	8,338,810 kWh														
ガス使用量	1,687,544 m <sup>3</sup>														
水道使用量	99,424 m <sup>3</sup>														
	<b>2 新病院の整備及び運営に関する取組</b>														
	<p>・新病院の整備については、災害対策も含めた着実な事業を進めるほか、新病院の概要や医療機能など、積極的に市民や医療関係者等に情報発信を行う。</p> <p>・新病院の運営については、機能拡充を含む医療の提供をいち早く確立するとともに、早期の経営の安定化を図る。</p>														